

学年	教科	科目	教科書名	副教材名
高3 特別進学 [理系]	数学	数学研究	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学A 数学B	システム数学 入試必修問題集 実戦 数学Ⅰ・Ⅱ・A・B

1. 授業のねらい

- (1) 既習の数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bについて、入試問題を用いた演習を行い、実戦力を身に付けていく。
- (2) 問題が著す本質をとらえて解法を考える力を養い、数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、これらを活用して総合的に解く力の習得を目指す。

2. 授業のすすめ方

問題集を用いて演習を行います。定着を図るため、少人数で授業を行います。2組は定期考査の得点により、習熟度別にクラス編成を行います。

参考となる類似問題を提示したり、解法例を紹介する際に、電子黒板等のICT教材も活用を予定しています。

3. 学習上の留意点

- (1) 授業の前には、必ず指定された問題を解いてきてください。あくまで、予習してくることを前提とし、それらの問題に対する解説・補足をする形式の授業です。解答して授業に臨むことで、理解の度合いが大きく変わります。
- (2) 予習において努力したものの、その問題をすべて解くことが困難であった場合は、教科書や参考書などを使用してよいので、せめてその単元の公式等のポイントに関しては理解してから授業に臨むようにしましょう。
- (3) 解けない問題はそのままにせず、理解するまで解法を追及してください。予習で手がつけられなかった問題も、授業後の復習において自力で解くことで、更なる飛躍が期待できます。
- (4) わからない問題にぶつかった時も簡単にあきらめないでください。解こうとする考え・過程・粘り強い努力こそが、数学で養われる力となります。

4. 副教材・参考文献

- (1) ニューグローバルα 数学Ⅰ+A+Ⅱ+B 入試対策編 (東京書籍)
- (2) 参考書は特に指定しません。必要に応じて、各自に合ったものを使用してください。
- (3) スタディサプリの動画教材

5. 評価方法

- (1) 定期考査は、1学期は中間考査100点、期末考査100点、2学期は期末考査100点で実施します。
- (2) 平常点は、1学期20点、2学期10点です。

授業に対する関心・意欲などの平常の学習態度と、授業の出席の状況で評価します。

6. 定期考査

- (1) 授業内容を基礎として、知識の応用、理解の習熟、数学的な考え方の応用、また、それに伴う表現・処理能力を見るための問題を出題します。

- (2) 各定期考査の範囲 (予定)

1学期中間考査 1～7 (数学Ⅰ)

1学期期末考査 8～13 (数学A・数学Ⅱ)

2学期期末考査 14～19 (数学Ⅱ・数学B) 及び 大学入学共通テスト・国立2次/私立対策

正式な試験範囲は、定期考査の1週間前頃に発表します。

7. 授業計画

	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	【教科書チェック+実践問題】 【数学Ⅰ】 1 式と計算 2 不等式・数と式の文章問題 3 1次関数と2次関数 4 方程式	中間考査	予習で基本かつ重要項目は定着させ、テーマ別演習問題を確実に理解し、反復して解き入試に欠かせない実戦力を育むことを目指す。
	5	5 図形と計量・図形の性質 6 データの分析 7 論理		
	6	【数学A】 8 場合の数 9 確率 10 整数		
	7	【数学Ⅱ】 11 整式の除法・不等式の証明 12 図形と方程式 13 三角関数	期末考査	
二学期	9	【数学Ⅱ】 14 指数関数・対数関数 15 微分 16 積分	期末考査	レベルの高い問題にも触れることで応用力を養い、さらなる学力の向上を目指す。国公立の2次対策でもある。難関大学の問題に挑戦し、解法の着眼点を習得することを目指す。
	10	【数学B】 17 数列 18 平面ベクトル 19 空間ベクトル		
	11			
	12	【総合演習】 大学入学共通テスト対策	期末考査	大学入学共通テスト対策を中心に取り組み、制限時間を意識したうえでの実戦力を伸ばしていく。 難関大学の問題に挑戦し、解法の着眼点を習得することを目指す。